

桜島・引ノ平の噴気温度変化*

Temperature variation of fumarolic gas at Hikinohira, Sakurajima Volcano.

九州大学大学院理学研究院 地震火山観測研究センター**

Institute of Seismology and Volcanology, Faculty of Science, Kyushu University

京都大学防災研究所 火山活動研究センター

Sakurajima Volcano Research Center, DPRI, Kyoto University

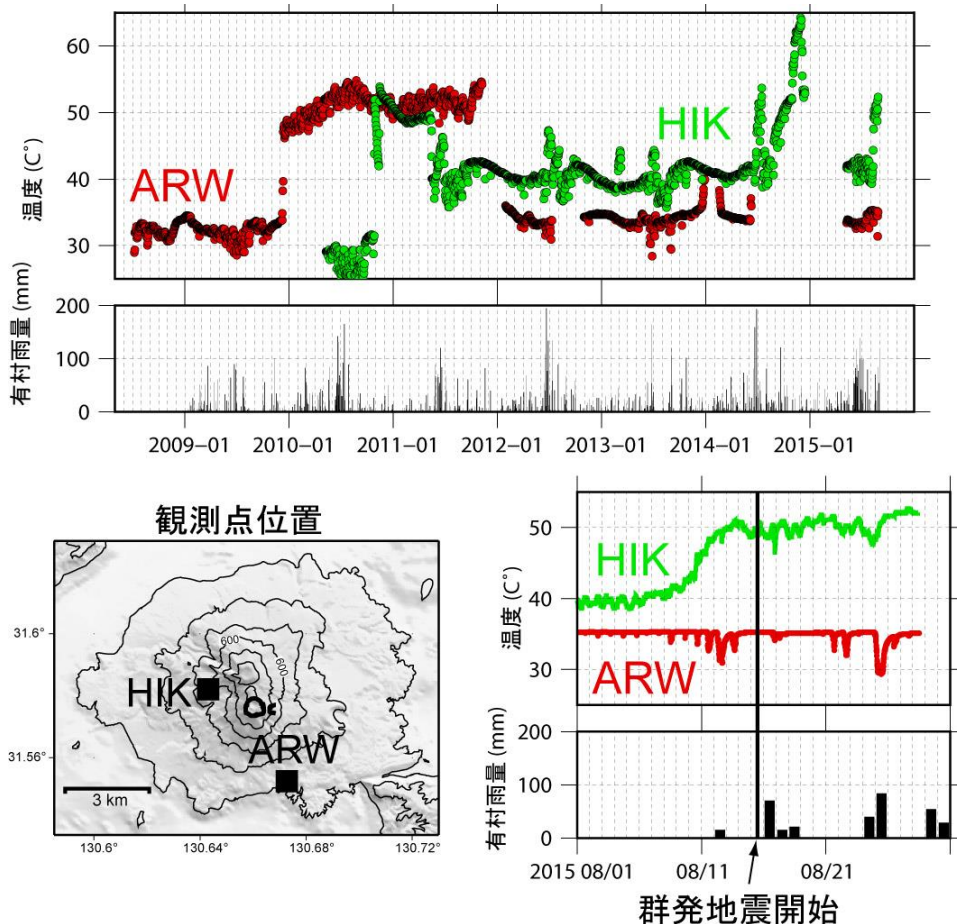
京都大学大学院理学研究科 附属地球熱学研究施設

Aso Volcanological Laboratory, Institute for Geothermal Sciences,

Graduate School of Sciences, Kyoto University

桜島では引ノ平や有村地区で水蒸気の噴気が定期的に見られており、サーミスタ温度センサを用いて、その温度を測定している。

2015年8月15日の群発地震活動の5日ほど前から引ノ平(HIK)の噴気温度が10°C程度上昇した。しかし、同程度の温度上昇はこれまでも何度かみられたことがあるため、それぞれの変動原因について丁寧に検討する必要がある。



第1図 桜島・引ノ平や有村地区で観測される噴気ガスの温度変化。国土交通省有村川雨量を下段に示した。

Fig.1 Temperature variations at HIK and ARW where weak fumaroles are present. Intense earthquake activities at Sakurajima volcano started August 15, 2015.

*2016年1月15日受付

**相澤広記